



思いやりの心を育む交流給食

本校では、ランチルームで交流給食を行っています。昨年までは、同学年での交流でしたが、今年度からは、異学年での交流給食が始まりました。

テーブルごとに自己紹介や質問をしたり、クイズを行ったりして楽しい時間を過ごしています。お兄さんやお姉さんに嬉しそうに話しかける前期児童の姿、普段以上の笑顔で下級生に接している後期生徒の優しい姿を見ることができます。スポーツテストや運動会等の機会を通じて育んできた交流を、給食の時間を通じて広げる貴重な機会です。

みんなで楽しく、にぎやかに給食をいただきながら、思いやりの心を育む場にしていきたいと思ひます。



市駅伝 今年も「朝RUN」の力で大健闘！

12月8日(土)、紀三井寺陸上競技場周辺コースで開催された、第71回和歌山市中学校駅伝大会において、朝RUN選抜の女子Aチームが3位(参加29チーム)、男子Aチームが11位(参加26チーム)の成績を収めました。毎朝積み重ねた努力が、今年もしっかり実を結びました。

朝RUNは3年生以上の児童生徒が自主的に参加できるランニングですが、学年の枠を超え、また部活動の枠を超えて集まった選手たちの頑張りや、一緒に取り組んでいる前期の児童にとってもこれからの大きな励みになったと思ひます。



あいさつ 挨拶の力！

晴れの日、雨の日、暑い日、寒い日、日によって子供達の表情、挨拶は違います。

校門前で、率先して「おはようございます」と言ってくれる子がいます。しっかり目と目を合わせて挨拶してくれる子もいます。挨拶と同時に、会釈して通ってくれる子もいます。4月から比べて、元気な挨拶ができるようになり、子供達の成長を実感しています。

私が、まだ伏虎中学校にいたころ、あと数日で3学期の終業式という日に、玄関先で挨拶をしていると、いつも自転車に乗って、校門の前を通過して行かれる50歳ぐらいの女性が、自転車を降りて声をかけてくれました。そして、「毎日、子供達や先生方に正門前で『おはようございます』と挨拶してもらいました。私は、この何年か仕事でつらいことがあって、朝は憂鬱な気分の仕事に向かっていたのですが、毎朝皆さんに挨拶をしてもらうことで、元気をいただき出かけることができました。この学校がもうすぐ閉校になってしまうので、そのことを伝えたいと思ひて今日はご挨拶に来ました。」と涙を浮かべながら話してくれました。

その話を聞いたとき、「おはようございます」というたった一言の挨拶が、人に元気を与える大きな力を持っていることをあらためて教えられた気がしました。どうか皆さんも、挨拶で、たくさんの人に元気を与えられる人になってほしいと思ひます。

(2学期終業式校長講話から)